

罪を犯した人のリカバリーを考える

精神保健の分野で発展してきた“リカバリー”の概念を切り口に、罪を犯した人への支援のあり方と、更生支援の実務家と当事者のコミュニケーション関係を問い直すための対話を行います。

◆罪を犯した人のリカバリーを考える ～ピアサポートの可能性と限界～

【日時】 2019年1月13日(日)

13:30～16:00

【場所】 島根県民会館3F 大会議室

アメリカの刑務所で実践されている更生プログラム「AMITY（アミティ）」は、終身刑もしくは無期受刑者のライフアーズがロールモデルとなり、受刑者同士の交流を通じて、罪に向き合い、未来のビジョンを育むピアサポートを基盤としたプログラムとして知られています。現在一部の日本の刑務所や更生支援の現場においても、同様の試みが始まり注目を集めています。本企画では、アメリカの刑務所を舞台としたドキュメンタリー映画の上映と、坂上香監督、当事者、更生支援の専門職のトークセッションを通じて、罪を犯した人のリカバリーにおけるピアサポートの可能性と限界について考えていきます。

[映画上映]

LIFERS ライファーズ 終身刑を超えて
(2004年 坂上香監督作品)

[トークセッション]

坂上香さん ドキュメンタリー映画監督
小暮芳信さん 元受刑者の自助グループ くまの会メンバー
NPO法人釜ヶ崎支援機構 スタッフ
千坂雅浩さん 薬物依存症回復施設 NPO法人鳥取ダルク代表
司会
三宅孝之さん 島根大学大学院法務研究科特任教授
原敬さん 松江保護観察所 社会復帰調整官

◆罪を犯した人のリカバリーを考える ～当事者と専門職との対話～

【日時】 2019年1月14日(祝)

9:30～11:30

【場所】 島根県民会館3F 307会議室

刑務所出所者や薬物依存症の当事者と、更生支援を担う専門職との対話を通じて、当事者と専門職の関係の問い直しと、罪を犯した人のリカバリーについて考えていきます。当日はオープンダイアログに 응용され注目されているリフレクティングという手法を用いて、参加者の多様な声が響き合う対話の場をつくっていきます。

(ファシリテーター)

矢原隆行さん 熊本大学大学院人文社会科学部教授

(スピーカー)

くまの会、鳥取ダルク
保護観察官、社会復帰調整官、作業療法士

※本企画は「きらりの集い2019」(ピアサポートとリカバリーをテーマとした全国イベント)の分科会として実施します。

[企画] しまね更生支縁ネット

[問い合わせ] しまね更生支縁ネット事務局
松江市向島町134-1 松江保護観察所内
電話 0852-21-3774

[参加費] 事前1000円(当日2000円) きらりの集い2019 in しまね2日間通し券

[申し込み方法] きらりの集い2019ホームページで申し込みください 締め切り12/28

<http://shimanekirari.wixsite.com>

